

# MINEPS VI カザン行動計画(女性スポーツ部分抜粋)

## 本文

第11項 スポーツを通じたジェンダーの平等と女性のエンパワーメントは国内外のスポーツ政策における重点要素であり、グッドカバナンスとスポーツによる持続可能な開発と平和に対する貢献を最大化するために重要である。

## カザン行動計画の構成(3つのテーマと20の政策分野)

### テーマ1. 万人のためのスポーツへのアクセスに関する包括的な構想の展開

#### 1.5 スポーツ界におけるジェンダー平等の実行/女性の地位の向上

「世界人権宣言」、「女子のあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」、「教育差別禁止条約」は様々な項目の中で全てのメンバー国に社会におけるあらゆる活動や政策立案に関わるポジションにおける平等な権利を規定している。スポーツはジェンダー平等や女性の地位向上を推進するための強力な役割を果たし、女性だけでなくその他のジェンダーグループの人生の選択肢を制限する不平等な構造にも変革の挑戦をすることができる。(ジェンダー平等とは、スポーツ参加率、指導者、教育、マネジメント、役員など様々なレベルの活動を含む。)

### テーマ2. 持続可能な開発と平和に向けたスポーツの貢献の最大化

#### 2.6 社会的ジェンダー平等の促進並び女性の地位の向上

スポーツは社会のジェンダー規範を反映させる。女性は男性より運動実施率が低く、スポーツ界における女性役員も著しく少ない。女性スポーツへの先行投資、政策、戦略は実施率と役員比率の不平等を表面化させることができる。(持続可能な開発目標(以下「SDGs」とする。)目標5.1, 5.5, 5.c)。女性の積極的な役員登用は社会発展に多大な影響を与える。また、良きスポーツプログラムは女性に対して安全な運動スペースを提供し、女性のリーダーシップを促進し、女性を尊重する社会の態度を促す。スポーツ界における女性に対するすべての暴力の削減は幅広い持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献することもできる。

## カザン行動計画の実行の枠組み(5つのアクション)

### アクション4. 女性・スポーツ・体育・身体活動のための国際モニタリング機関の設置に関する実現可能性の研究の実施

#### <目的>

1. スポーツ政策と行動計画のジェンダーの主流化のための能力開発
2. 女性とスポーツに関する議論の促進と認識向上
3. 持続可能な開発目標5のスポーツに関する進捗のモニタリングと評価
4. スポーツ行政団体とスポーツ団体における女性役員の増加
5. 女性のスポーツ参加に影響を与えるあらゆる暴力の認識向上、議論の促進、暴力からの保護及び治療の向上
6. 女性とスポーツに関するメディア表現の認識向上
7. 施設の利便性向上を含む女性のスポーツ参加を促す資金の拡大
8. 女性とスポーツに関連する研究活動

#### <主な活動>

1. 国際的、地域的、及び国内の関係団体のマッピング
2. 主要なオーディエンスと目的の確定
3. 主要な中央システムと地域システムの確定
4. 主要な資格と能力の確定
5. 内部組織の確定
6. 資金を含めたリソースと法的な手続の確定
7. 実行スケジュールの作成

#### <潜在的な主要パートナー>

国連ウィメン、国際女性スポーツワーキンググループ(IWG)、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、国際大学スポーツ連盟(FISU)、メディア、政府系団体、研究者、企業、その他のスポーツ団体